

川越初雁会

第九回定期総会九月七日に開催

日時 令和元年九月七日(土) 午後三時開会

場所 氷川会館(川越市宮下町二一十一―三)

審議事項 平成三〇年度事業報告並びに決算報告

令和元年度事業計画案並びに事業予算案

記念講演 膝がんとこの戦い方

埼玉医科大学国際医療センター

副院長・QMC副センター長・消化器外科教授・肝胆膵外科診療部長

講師 岡本 光順氏 (高三十七回)

川越初雁会 春季講演会 三月十七日 於 川越高校同窓会館

中国ビジネスの最前線で見えてきた生の中国

元三井住友銀行天津支店長

伊藤 貴夫氏 (高三十四回)



講演中の伊藤氏

伊藤氏は、八七年に旧三井銀行に入行以来、中国ビジネスに関り、退職後も川越の(株)東洋クオリティワンに入社、現在も中国にある拠点を飛び回っている。

苦勞したこと

二〇年以上にわたって中国ビジネスに関わってきた私ですが、一番苦勞したことは何かとよく聞かれます。当局にいじめられたとか、その他いろいろとありましたが、最大の苦勞はお酒でした。私は全く酒が飲めない体質ですが、中国で仕

事をする際には飲まないわけにはいかない。

天津支店長時代のことで、中国では度数六〇度の白酒を小瓶ではてしなくカンペイをします。その時は、空腹状態で水をあらかじめ大量に飲んでおき、カンペイの後にトイレで吐いていました。部下はベロベロになっっているなか、私だけはしゃつきつとしていたことがよくありました。伊藤は酒に強い、とよく勘違いされていました。

現在の中国の様子

まず始めに、私が撮ってきた写真をもとに、現在の中国の様子をざっと紹介します。まずは天津。私が六年間滞在した北部の港町ですが、ここは世界の中で唯一、欧州や日本の一九二〇〜三〇年代の租界時代の建築様式が残っている街です。また近代的なビル群も並立して、そのギャップには驚かされます。

次は瀋陽、昔の奉天です。瀋陽の駅舎は東京駅にそっくりです。なぜなら東京駅を設計したお弟子さんが設計したからです。また旧関東軍の司令部や、旧満鉄大和ホテルなど、当時のままに残っています。

最近中国に行って一番衝撃を受けたのは、三輪の電動バイク(免許いらず)が大流行していたことです。これから中国では超小型のEV車が主流になると思われます。

酒以外に苦勞した点は、やはり政治体制の違いからくる違和感です。共産党がやれと言ったら国全体が一気に動きます。外資系企業も従わなければなりません。二〇〇九年の建国六〇周年式典では中国国歌と歌唱祖国を直立不動で歌わされました。国家の力、国家の強制力、一党独裁の独特な締め付け感を感じました。中国は一党独裁と言われる



岩堀会長開会の挨拶

ますが、実はいろいろな党を一応認めています。野党や各種団体の全国会議が政治協商会議です。全人代と同時に開催されますが、実態は共産党へ入党できないかかった人たちのガス抜き機関の意味合いがあります。もうひとつの違和感は、常に見られている圧迫感です。ハイテクを用いた監視社会化は強力な統治を確かなものにするためと言えます。また個人の決算情報、位置情報など、企業がもっているものを強制的に出させられている状況のようです。

と推察されます。余談ですが、私はアリババの創始者であるジャック・マー氏と二〇〇二年にお会いしたことがあります。当時は創業したばかりで、セミナーの講師として来日したときにお話をしました。彼は起業家というより研究者教育者といった趣でした。そのときもっと親しくしていれば私の人生は変わっていたものと思われれます。

中国の経済

ここからは経済の話です。中国という国の一年間のGDPの成長分は、タイとマレーシアのGDPを足した額に相当します。つまり毎年この2カ国を生んでいるのと同じ値で成長しているのです。これだけ大きい中国経済が下方きみになると、世界中でとてつもない影響がでます。

立ちました。ものを作れば貿易を行う。日本も中国から安いものを輸入し、生活に貢献しています。また米国に対して、米国債を購入入して、アメリカの財政を支えています。米中は貿易で軋轢がありますが、本気でけんかはできない仕組みになつていと言えます。

経済成長を阻害する要因として、中国全体で投資が加熱し、債務比率が悪化しての不況があげられます。また、民間の自由な取引より、党の指導の国有企業が優先される結果、民間の活力が削がれるといった状況も見られます。また最近の米中貿易戦争も成長への新たなリスクと言えます。

お互いを知る大切さ

最近日本に旅行にくる中国人が増加しており、対日感情も変化しています。実際に日本で日本人に接すること、政府の言っていることと違うのではと感じているのでは。世論調査でも、好感度アップは、来日した人が増えた時期と一致しています。中国人の旅行先として川越は、時空を超えた旅ができると、たいへん人気のある観光地です。日中の相互理解を深める重要な役割を担うことができると思います。

アリババ集団も国家の管理下におかれているもの別の製造業のGDPにて欧州を抜いて世界でトップに

二〇一七年には、国地域を

中国はなぜ高度経済成長をし続けなくてはならない

期待できます。

山岳部創部の頃

金子 勇二（高三回）

ある山岳部員の想い出 第四回

平成三十年から始まった、金子先輩のお話は今回を持って最終回になりました。



金子 勇二

挨拶した私達の肩にいきなり手を置き「でっかくなつた、よく来た」と喜んでくれた。

鎌仙人の想い出

尊仏小屋と山岳部バッジ

二十六年の春三月中旬、

昭和二十一年、初めての登山で雲取の山小屋、初めての飯盒での炊事、大木丸ごと燃やす鉄板囲いのかまどの火、何もかも驚きと興奮であった。そのとき難しい顔をした背の高い小屋番の人がいて、火まわりが均等になるように世話してくれた。この人こそ私がずっと尊敬をし、指導を仰いだ『鎌仙人』こと富田鎌次郎氏であった。

後に二十三年、二十五年と雲取山を訪れたときに再会した。山荘で泊まった夜、

大学入試第一希望に失敗し、浪人希望が叶うはずもなく勝手にふてくされていた時に思いたって、高二の時、丹沢勘七沢を単独遡行した時のスリルを思い出す。風邪気味を無視して実行した時の事、塔ヶ岳など尊仏小屋の利用者は植林を食い荒らす鹿を駆除するハンター五人のみ。

た。私は『これは川越高校のバッジです』と二十四年の沢登りで泊った時見せて湘南高校にそっくりと言われたバッジを思いだした。形は似ていても湘南高校の地色は澄んだ空色の青、川越高校の物は濃紺の青である。鈴木さんは湘南高校の大ファンらしく、部員の態度、行動を褒めそやかした。

十一月には登山を試みた後、須永先生の許可賛成で山岳部に入部してしまつた。今にしても、塔ヶ岳尊仏小屋で受けた親切は忘れられない。

エピソード

（もう少し木村先生）

もう一度木村先生が私達に与えた影響の事を書きたいのでお許し願いたい。先生は顧問になつたころ、すでに単独行登山を数多くやっていたという。小柄ががっしりした体型で、旧海軍の士官であつたという前歴を示す十分な感じであつた。静かに語る口調は、思索的でありながら、どこか強靱な精神力を感じさせた。

私は川越にある川越須永病院で初期肋膜炎の治療をうけることになった。そのとき、特効薬のストレプトマイシンが開発されたばかり、父親の格別な尽力のお蔭で快癒し、

を育てたのである。

木村先生の想い出は格別である。すでに他界した糟谷君、柳下君とは生前、必ず話題にした。先生が川高を去つたのは急であつたと。

私達の卒業後二十七年に川高を退職し、山口県厚狭にある「日本化薬工場」の同輩の危急を救うためであつたと聞く。定年退職後は、大宮近郊に住まわれた。一度だけであつたが、一晚中話をした幸運の日があつた。

更に感化されたこと

登山の外に、パイロットで作家サンテグジュペリの存在を学んだ。今も『戦う操縦士』『夜間飛行』『星の王子様』など書棚にあり、濡れたテントの中で読んだ『人間の土地』の一節のことは忘れられない。その人間愛への密かな情熱は、相変わらず軽薄な私を揺さぶり続ける。

管理人の鈴木さん（仮名）は、私の顔を見ながら

「湘南はバッジを変えたのかい」と胸のバッジを指し